

「北海道の防災研究を考える～広域複合災害研究センターへの展開～」を開催

～これまでの成果報告と新センター設置の展望を紹介～

【概要】

大規模災害に対する実践的な研究と国土保全を担う人材の育成を目的とした本学大学院農学研究院「国土保全学研究室」（寄附分野「融合研究分野」内）、防災・減災に関する文理連携教育研究プロジェクト「突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点」は、平成30年北海道胆振東部地震、平成28年北海道豪雨災害等、北海道の防災研究に関し、1) 災害メカニズムの解明、2) 防災関係機関が行う対策への技術的な支援、3) マスメディアを通じたわかりやすい情報提供によって貢献するなど、主導的な役割を果たしてきました。

この度、両組織が時限を迎えるにあたり、成果報告会「北海道の防災研究を考える～広域複合災害研究センターへの展開～」を開催します。

また、成果報告会では、両組織を発展的に統合し、平成31年度に設置する学内共同施設「広域複合災害研究センター」についても紹介します。

【日 程】 平成31年3月5日（火）14：00～17：30（開場 13：30）

【場 所】 北海道大学学術交流会館講堂（札幌市北区北8条西5丁目）
札幌駅北口より徒歩7分

【主 催】 北海道大学大学院農学研究院国土保全学研究室、
北海道大学突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点

【後 援】 北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点、公益社団法人砂防学会北海道支部

【対 象】 一般市民

【募集人数】 250人

【参加費】 無料

【言 語】 日本語

【申込方法】 氏名・所属を明記の上、下記申込先兩名宛て3月1日（金）までにメールでお申し込みください（募集定員に達し次第、締切）。

≪申込先≫ 北海道大学大学院農学研究院国土保全学研究室 林真一郎、齊藤景子

メール：shayashi@cen.agr.hokudai.ac.jp, keikos@cen.agr.hokudai.ac.jp

【その他】 同日18時より、レストラン「エルム」にて情報交換会を開催しますので、参加を希望される方は、氏名・所属を明記の上、上記申込先兩名宛て2月19日（火）までにメールでお申し込みください（会費4,500円、定員100名）。

また、学内共同施設「広域複合災害研究センター」の開設式は、平成31年4月16日（火）13：00～17：00に学術交流会館にて開催予定です。詳細は、決まり次第ご案内します。

【プログラム】

14：00～14：10 開会挨拶・感謝状贈呈

14：10～14：30 来賓挨拶

14：30～15：00 寄附分野研究報告

小山内信智（北海道大学大学院農学研究院 特任教授）

林真一郎（北海道大学大学院農学研究院 特任助教）

15：00～15：30 突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点活動報告・
広域複合災害研究センターへの展開

山田 孝（同拠点長，北海道大学大学院農学研究院 教授）

古市剛久（北海道大学大学院農学研究院 学術研究員）

15：30～15：45 休憩

15：45～16：35 特別講演1「平成の災害から何を学び，次の災害にどう備えるのか」

松本浩司（NHK 解説主幹）

16：35～17：25 特別講演2「砂防分野における大学の役割と期待」

栗原淳一（国土交通省砂防部長）

17：25～17：30 閉会挨拶

横田 篤（北海道大学大学院農学研究院長）

17：30 閉会

お問い合わせ先

北海道大学大学院農学研究院国土保全学研究室 特任助教 林真一郎（はやししんいちろう）

T E L 011-706-2519 F A X 011-706-4935 メール shayashi@cen.agr.hokudai.ac.jp

U R L <http://lab.agr.hokudai.ac.jp/kokudohozen/>（国土保全学研究室）

<http://lab.agr.hokudai.ac.jp/disaster/>（突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点）

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimuhokudai.ac.jp

「北海道の防災研究を考える ～広域複合災害研究センターへの展開～」

大規模災害に対する実践的な研究と国土保全を担う人材の育成を目的とした農学研究院「国土保全学研究室」、防災・減災に関する文理連携教育研究プロジェクト「突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点」は、H30年北海道胆振東部地震、H28年北海道豪雨災害等、北海道の防災研究に各方面で主導的な役割を果たしてきました。この度、両組織の終了に際し、成果報告会を開催します。また、両組織を発展的に統合しH31年度から設置予定の学内共同施設(研究施設)「広域複合災害研究センター」について紹介します。

開会挨拶・感謝状贈呈

寄附分野研究報告 国土保全学研究室 小山内信智特任教授
林真一郎特任助教

突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点活動報告・ 広域複合災害研究センターへの展開

山田 孝拠点長(農学研究院教授) 古市剛久学術研究員
特別講演 「平成の災害から何を学び、次の災害にどう備えるのか」
NHK解説主幹 松本 浩司

特別講演 「砂防分野における大学の役割と期待」
国土交通省砂防部長 栗原 淳一

閉会挨拶 農学研究院長 横田 篤

日時:平成31年3月5日(火) 14:00～17:30 (開場13:30)

会場:北海道大学学術交流会館講堂

後援:ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点、砂防学会北海道支部

- ・入場は無料。参加希望・取材の方は下記参加申込先に事前登録をお願いいたします。
- ・定員には限りがあり(定員250名)、参加多数の場合にはお断りすることがあります。
- ・成果報告会は3月1日(金)までにお申し込みください。

情報交換会:18:00～ レストランエルム (会費4,500円、2月19日(火)までにお申し込みください。)

報告会・取材・情報交換会申込、問い合わせ先:北海道大学国土保全学研究室

担当:林 shayashi@cen.agr.hokudai.ac.jp 齊藤 keikos@cen.agr.hokudai.ac.jp

※申込は必ず兩名に、電子メールにてお申し込みください。

TEL:011-706-2519 (林) 研究室HP:<http://lab.agr.hokudai.ac.jp/kokudohozen/>

成果報告会・情報交換会 会場案内図

情報交換会会場 レストランエルム

[交通案内]

- JRご利用の場合
札幌駅下車、徒歩7分で
「正門」到着
- 地下鉄南北線・東豊線
ご利用の場合
さっぽろ駅下車、徒歩10分で
「正門」到着
- 地下鉄南北線ご利用の場合
北12条駅下車、徒歩4分で
「北13条門」到着
北18条駅下車、徒歩7分で
「北18条門」到着



成果報告会会場 学術交流会館

学内共同施設(研究施設) 広域複合災害研究センター 概要

1. 背景

- ・地球温暖化による**気候変動の激化**
- ・切迫する**大規模地震・火山噴火の発生可能性**
- ・少子高齢化・人口激減による**社会構造変化**

1つの自然災害を起点に・・・

- ◆ 災害規模の拡大による連鎖型**複合**災害へ
- ◆ 災害発生により、交通・物流、食料基盤、生活基盤、企業活動などに対して、**広域**的な経済被害が発生

- ✓ 災害規模の大規模化！
- ✓ 防災、災害対応、復旧復興活動対応が複雑化、多様化！

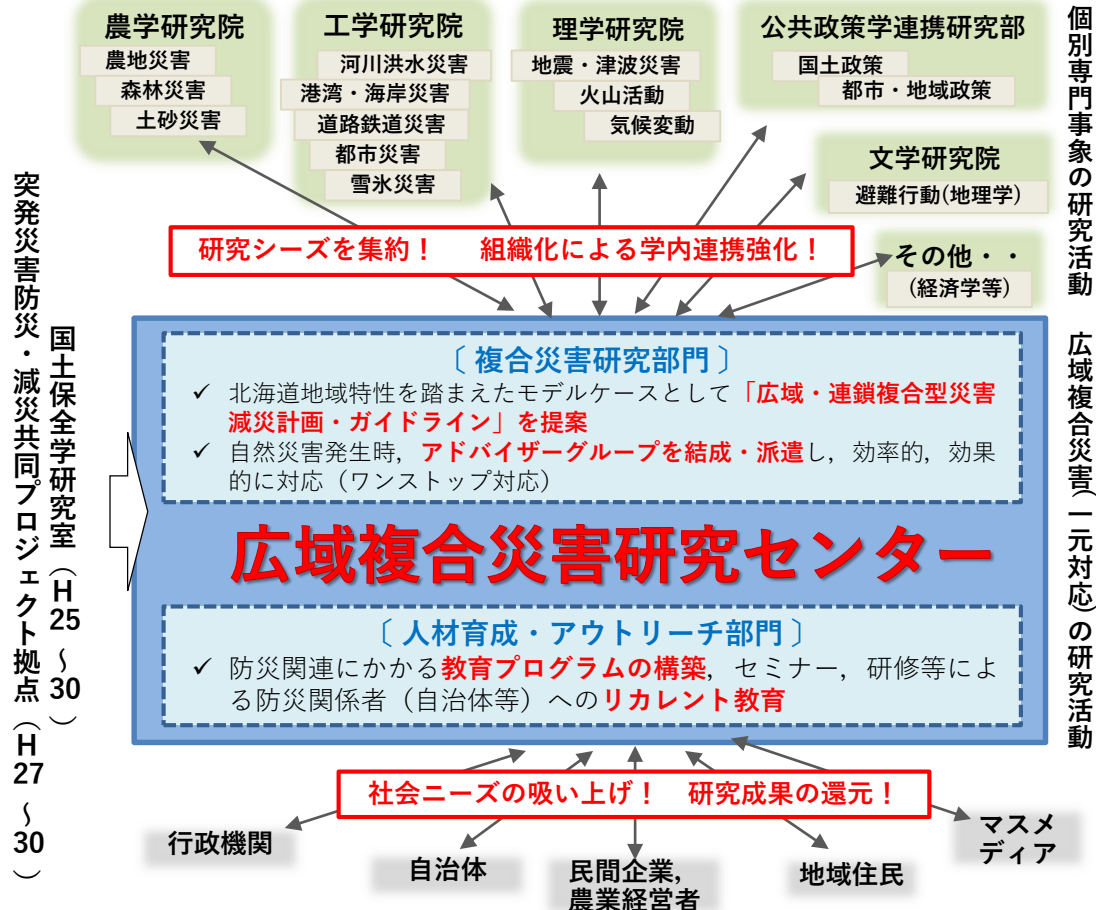
大規模災害により発生する現象や被害は、個別分野研究・対応だけでは解決は困難

現在の突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点、国土保全学研究室（農学研究院寄附分野）における活動では、対外的に組織的な対応に限界

広域複合化する災害対応における**総合的な研究**、対外的な窓口としての**一元対応**が必要

2. 体制整備と活動

これまでの、突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点、国土保全学研究室における関連機関との連携研究の実績、各災害分野における研究資源を活用し、予防予測、災害対応、復旧復興についてセンター設置により**一貫した総合研究を推進**



3. 活動計画

まずは、当面5年間の活動を目安に、**北海道を対象**とした広域複合災害研究により、**汎用的なモデルケース**となりうる**地域（札幌、帯広、釧路など）**を絞って研究し、**「広域・連鎖複合型災害減災計画・ガイドライン」モデルケース**を構築

併せて、教育プログラムの実施、セミナー、研修等による、**防災関連人材の育成**に取り組む。